

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	災害現場で三連梯子を車両から降ろす際に、後方に部署している車両に激突し、挟まれそうになった。
3. 体験した事例の中心的要素	災害現場で、いち早く梯子を降ろすことだけに集中してしまい、周囲及び後方の安全確認を怠った。
4. 体験した事例の原因・理由	今回の車両の部署位置が上りの傾斜地で、後方車両の部署位置も近かったのが原因と考えられます。 梯子を降ろす際に勢いがついてしまい、衝突する前に隊員により確保したため、人的、物的被害はなかったが、訓練時とは違い、部署位置やありえない障害物が実災害にはつきものであり、日頃の訓練時と同様に安全確認を行ない実災害で実施しなければならない。

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成27年11月18日 午後7時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：共同住宅に面している上り傾斜地の市道。
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	激突、(機器等)巻き込まれ、はさまれ
7. 事例体験時の活動	救助現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	資機材準備・撤収
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[27]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[3]年、階級[消防副士長] 同様の活動 [ 頻繁 ]、任務 [ 隊員 ]
○当事者B	年齢[35]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長] 同様の活動 [ 頻繁 ]、任務 [ 機関員 ]
○当事者C	年齢[48]歳、勤続年数[22]年、現場経験年数[22]年、階級[消防司令] 同様の活動 [ 頻繁 ]、任務 [ 複数隊の隊長 ]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	車両上部の三連梯子を降ろそうとした。	
経過2	当事者B	車両後方左側で安全管理の実施。	
経過3	当事者C	車両が離れた所で全体の安全管理実施。	
経過4	当事者A	三連梯子を降ろした所、傾斜地のため勢いよく降りてきた。	
経過5	当事者B	後方の車両に接触しそうになったので、止めようと指示をした。	
経過6	当事者A	梯子の降りる勢いがあったため、後方の車両にぶつかりそうになる前に止めた。	
経過7	当事者B	梯子を元の位置に戻るように指示する。	
経過8	当事者C	違う車両の三連梯子を使って活動するように指示をする。	
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)から適切な注意を受けた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

